

個人調書及び教育研究業績書記入上の注意

1 共通事項

- (1) 個人調書及び教育研究業績書の様式は、所定様式（様式第1号、様式第2号）を使用すること。
- (2) 用紙は、日本工業規格A4判とすること。
- (3) これらの書類の押印部分は、本人の署名をもって代えることができる。

2 個人調書記入上の注意

- (1) 「学歴」の欄には、高等学校又はこれらと同等以上と認められる学校入学以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入すること。なお、学位、称号及び医療関係免許（取得年月日、免許の種類及び番号）等についても同欄に記入すること。
- (2) 「職歴」の欄には、すべての職歴について記入し、職名、地位等についても明記すること。なお、過去における教員組織審査において、教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、職名及び担当授業科目名を記入すること。
- (3) 「学会及び社会における活動等」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入すること。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入すること。
- (4) 「職務の状況」の欄には、記入日現在における職務の状況について記入すること。

3 教育研究業績書記入上の注意

- (1) この書類は、授業担当科目等に関する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主要な著書、学術論文等（発行又は発表が予定されているものを含む。）について作成すること。
- (2) 「教育上の能力に関する事項」の「4 その他」欄には、1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記入すること。

（参考）

教育方法の実践例

- ・優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開 等

作成した教科書、教材

- ・作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合「（再掲）」と表示）

当該教員の教育上の能力に関する大学の評価

- ・各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）
- ・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価

- ・学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの
- ・上記以外で、学長、学部長、諸機関等が行った評価（客観性を持ったものについて記載）等

（記入例）

自己点検・自己評価報告書 0年0月0日 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

学長の評価 0年0月0日 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

その他

- ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ・教育実績に対する受賞歴 等

上記にとらわれず、積極的に記載してください。

（３）「著書、学術論文等の名称」の欄には、著書、学術論文及びその他の順に、それぞれ年月順に、番号を付して記入すること。

（４）「概要」の欄には、教育上の能力に関する事項及び著書、職務上の実績に関する事項及び著書、学術論文等の概要について、教育上の能力に関する事項の各欄、職務上の実績に関する事項及び各著書、各学術論文等ごとに200字程度で具体的に記載すること。

なお、著書、学術論文等が共著の場合は、担当部分及び頁数を明記し、また、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記入すること。